

婚礼大手ノバレーゼ、福島の小学校にブランコなどを寄贈

震災で遊具を失ったままの校庭に設置

～ 家族の誕生に関わる会社として、子どもたちの笑顔を守る取り組み ～

ブライダル大手の(株)ノバレーゼ(東京都中央区、荻野洋基社長、東証スタンダード上場、資本金:100百万円)は、福島県の小学校「相馬市立山上小学校」(福島県相馬市)を訪問し、東日本大震災の影響で失ったままになっている屋外遊具を寄贈、設置します。

寄贈するのは、ブランコや滑り台などが組み合わさった複合遊具1基で、設置日(寄贈日)は2023年7月19日(水)です。当社の社会的責任(CSR)活動の一環として行います。

設置作業は社内で全国から有志を募り、計15人が参加します。そのほか、活動に賛同する結婚式場大手アニヴェルセル(株)の社員2人も加わります。参加者(計17人)は、遊具を贈る活動をしているNPO法人「プレイグラウンド・オブ・ホープ」(POH)の協力のもと作業します。遊具設置のほか、校内に置くベンチの木工製作も行います。

寄贈前日の7月18日(火)には、相馬市が実施する「相馬市復興視察ツアー」に、両社で参加します。被害の大きかった沿岸部や、新たに建築された復興施設などを見学します。「相馬市立山上小学校」の生徒や先生、関係者皆様のこれまでの想いについて、少しでも理解を深めたい考えです。

当社は昨年(2022年)、「家族の誕生に関わる婚礼会社として、子どもたちの笑顔を守りたい」という想いのもと、遊具を寄贈する本CSR活動を始動しました。今回の寄贈は、神奈川県茅ヶ崎市の児童養護施設「白十字会林間学校」に続き2度目です。今後も継続していく所存で、同業界他社に呼びかけながら、活動の輪を広げていきたい考えです。

<相馬市立山上小学校について>

「相馬市立山上小学校」は、福島県相馬市にある、全校生徒20人の学校です。東日本大震災では、校舎が一部損壊しました。東京電力福島第1原発の事故の影響による、校舎・校庭の除染など、復旧には大変な道のりを要しました。取り壊された遊具はまだ、元通りに戻ってない状況でした。当社は遊具を寄贈することで、子どもたちの心を少しでも明るくしたいと願っています。

<第一回となった取り組みについて>

本CSR活動の第一回目は2022年7月21日(木)で、児童養護施設「白十字会林間学校」(神奈川県茅ヶ崎市)に遊具を寄贈し、設置作業を行いました。

作業は、当社の代表取締役社長の荻野洋基と社員22人の計23人が全国から参加し、POHと共同で実施しました。



第一回の寄贈・寄贈設置の様子(神奈川県茅ヶ崎市の児童養護施設)

新規遊具の設置のほか、施設内にある鉄棒やリングトンネルといった既存の遊具の塗装も行い、遊び場全体を綺麗で快適な空間にしています。児童からは大いに喜ばれ、「また来てね」の声に応えるため、今年(2023年)8月29日(火)にはBBQを行いに再訪します。

活動を終えた当社代表の荻野は、「家族の誕生に関わる会社として、今回このような活動ができたことを嬉しく思います。今後は支援の輪を広げながら、一人でも多くの子どもたちの笑顔を守っていきたい。」とその意義を語っています。

【ご参考】当社のこれまでのCSR活動について

年	月	県	活動・評価内容
2008	5	千葉	・千葉県君津市久留里の国有林から1ヘクタール(約3000坪)を“NOVARESE 未来の森2008”と命名し、ヒノキ苗木の植林を実施
2009	9	静岡	・農家と関わる「未来の食」プロジェクトの素案づくりをNPO法人の協力のもと開始
	11		・教育研修部、施設長、施設料理長など社員5人がミカン農家で収穫と研修を実施
	12		・社員21人が農家でミカンの収穫と共同選果場の見学、勉強会を実施 ・当社の一部レストランでミカンを使ったフランス料理を提供 ・農家主導による一般消費者向けの新商品開発に関する会議を実施、有効利用されていない“摘果ミカン”に着目
2010	4	静岡	・“摘果ミカン”を使ったお酢の新商品開発に着手
	8		・社員33人が摘果ミカンの収穫と搾汁作業を実施 ・当社婚礼施設兼レストランの料理長が摘果ミカンを使った子ども向け料理教室を開催
	12		・社員16人がミカンの収穫作業を実施 ・“摘果ミカン酢”の新商品名や、パッケージデザインに関する会議を開催
2011	2	静岡	・完熟ミカンの搾汁作業を、お酢製造を依頼する地元ソースメーカーの鳥居食品で実施
	3		・商品名や価格・販売戦略、商品パッケージの最終会議を実施
	4		・摘果ミカンのお酢「想酢(おもす)」950本販売の新商品発表会を東京と静岡で開催
	8		・社員20人が2012年の「想酢」発売に向けたミカンの摘果・搾汁・除草作業を実施 ・直販所の現状に関する勉強会と販売促進に関する座談会を開催 ・シャーベットやジェラートなど夏向けの新商品開発の会議を実施
		新潟	・社員21人が棚田で農作業、焼畑の準備作業を実施 ・農家の現状や取り組み、農業への想い、一次・二次産業のつながりに関する座談会を開催
			青森
	11	新潟	・新潟県村上市山北地区の生産農家と共同で、同県の旬の食材を使った秋の行楽弁当を共同開発。お弁当を同県のアンテナショップ(東京)で販売
		静岡	・静岡県でのミカン農家との試みが、同県が推進する、都市と農村の協働による地域活性化への取り組み「一社一村しずおか運動」に認定
	12	静岡	・社員10人がミカンの収穫と搾汁作業を実施 ・商品企画や広報活動、直売所の経営戦略についての会議と意見交換会を開催
	2012	4	静岡
8		・社員7人が2013年の「想酢」発売に向けたミカンの摘果・搾汁・除草作業を実施	
12		・社員16人と11戸の受け入れ先農家と共に、お酢の原料である完熟ミカンの収穫 ・飲むお酢の商品化について地元ソースメーカーの鳥居食品も交え会議を実施	
2013	4	静岡	・従来の摘果ミカンを活用したお酢「想酢」に加え、飲むタイプのお酢「想酢+」を発売 ・静岡での活動はその後、2019年12月まで10回に渡り実施しました
2014	9	岡山	・社員30人がモモ農家で栽培や収穫、選果など農作業を実施 ・岡山県倉敷農業普及指導センターや、総社市のモモ農家とともに、モモの新商品企画や売り方、売り先に関するグループワークを実施 ・岡山での活動はその後、2018年8月まで5回に渡り実施しました
2022	7	神奈川県茅ヶ崎市の児童養護施設へ遊具の寄贈、設置を実施	



会社概要

社名	株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc. ※東証スタンダード市場上場		
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 8 番 14 号 銀座 YOMIKOビル 4F		
電話	03-5524-1122(代)	創立	2000年11月1日
資本金	100百万円 (2022年12月末)	代表者	代表取締役社長 荻野洋基
従業員数	2332人(連結)、1917人(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2022年12月末)		
事業内容	ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)・レストラン特化型事業		
店舗数	婚礼施設(34)、ドレスショップ(23)、レストラン(7)、海外(1)		

————— 本件に関するお問い合わせ先 —————

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp